

系碕神社新報

第240号

発行 系碕神社事務局

令和8年2月10日

系碕神社

三原市系碕 8-10-1

TEL 0848-68-0102

責任編集 宮司 松本 圭

昔々の系碕

熊本細川藩の御用

絵師が描いた系碕神社（当時系碕八幡宮）門前の絵のことは、何度かふれたことがありますが、改めて、その絵を少し詳しく見てみましょう。

御用絵師の名は、

杉谷雪樵。安政三年

（1858）、細川藩の

筆頭家老松井章之の

江戸参府に随伴した

時に描いたものです。

系碕神社門前の道

は、江戸の昔は西国

街道と呼ばれ、当時

の日本の主要な街道

のひとつでした。

次に細部を拡大し

て見ていきます。

○系碕八幡宮

絵の左端に系碕

八幡宮の鳥居が見

えます。そして江戸

時代は、境内を囲う

瑞垣が木製だったこ

とが分かります。因

みに、現在の御影石

の瑞垣は、明治二十



九年（1896）の造立です。



西国諸藩の大名行列がこの道を通る際は、ここで行列を停めて系碕八幡宮に参詣するのが習わしだったと伝わります。ただし、拝殿に上がるのが許されたのはお殿様一人だけだったそうです。

○門前の茶店

絵の中央を拡大します。神社門前に茶店があり、旅人たちが休憩している様子が描かれています。

茶店の二階には、風景を楽しんでいる様子の人たちが見えます。沿道には松の並木、見晴るかせば瀬戸の島々、穏やかな海を進む帆掛け船・・・。

長井の浦（系碕の海辺）は、三原城下の地誌「三原志稿（1899）」で名所の筆頭に挙げられるほど風光明媚なところとして知られ

ていました。



ていました。

昭和の後半に自動車が普及して路面がアスファルト舗装され、車の排気ガスや松食い虫で松が枯死し果て（邪魔になって伐採されたものもあったでしょうが）、更には、平成期に埋立てが進んで、景色はすっかり変わってしまいました。

しかし、今も歌い継がれている系碕小学校の校歌が出来た頃

（※）までは、長井の浦の景色は、家々や船が近代的になった等の多少の変化はあったにせよ、この絵からは大きくは変わっていないのだから、としたいと思います。以下は、系小校歌の一番です。

朝日に夕日に照り映ゆる

瀬戸内海の島々も

長井の浦のさざ波も

行き来の舟も絵にまざる

美しさ優しさ これ我が願

いかがでしょうか？系小校歌の

歌詞は、この絵の景色そのもの

ように思えて来ます。

（※）厳密なところを確認していな

いのですが、系小校歌を作詞した葛

原滋（1886-1961）は、昭和二十年

代から三十年代前半に校歌を多数手

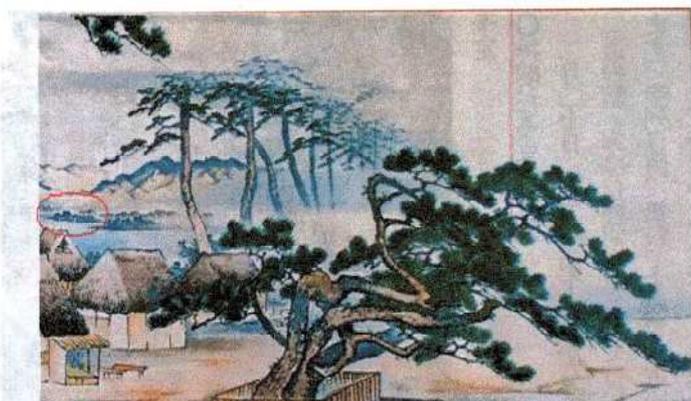
がけたようですので、系小の校歌も

その頃の作品だろうと思います。因

みに葛原は、『ぎんぎんぎらぎら』

という童謡「夕日」を作詞したこと

で、その名を知られています。



○下り松と三原城

※少し前に、SNSで見かけたことばです。誰がそう言ったのかは分かりませんが、世の中には、上手いことを言う人がいるものですね。自分自身がいつの間にか濁って来ていないか、時々点検してみると良いかも知れないな、と、思った次第。



○節分豆まき

二月一日(月)、豆まき行事を

り松たつたのだらうと思われま

また、遠くの方に(拡大図の赤枠内)に三原城が見えます。令和八年節分行事・神事

絵の右端に「下り松」が描かれています。太古の昔、神功皇后が上陸されたとき、下り松に舟を繋いだ、というのが当地の言い伝えです。「村社系碕神社御由緒其他調書」によると、大正期には既に枯死して枯れた切り株が残るのみとなっていたとのこと

執り行いました。三年ぶりに雨を心配しなくてよい豆まきとなりました。今年も四百人ほどの方が参集され、ご応募頂いた午年生まれの福男・福女の皆さんによって豆まきが行われました。すべて順調、順風満帆。本当にありがたいことです。準備・運営・後片付けに参加された総代会役員はじめ有志の皆様、豆まき奉仕者の福男・福女の方々、豆まきに参集された皆様に感謝致します。

○節分神事

節分の夜に百鬼夜行が現れるというのが昔の人々の信仰です。から、本来は、節分の夜に行ってもその鬼退治です。当社においても古式に則って、節分(今年二月三日)の夜に節分祭神事を執り行いました。

平日の寒い夜の神事ですから、参集される方は多くありません。ひっそりとした夜のひっそりとした祭ですが、今年も、あらん限りの気合いを込めてご奉仕致しました。

お集まり頂きました総代会役員の方々をはじめ、ご参列の皆様にご感謝致します。

その他ご奉仕等

三原神明市

「三原神明市」が二月六日

(金)く八日(日)に開催され、期間中、東町四丁目の胡神社にてご奉仕致しました。



神明市の期間中に雪や霰が降るのは殆ど毎年のことですが、このたびは、強い寒波の襲来と重なり、八日の昼頃に雪が降り始め、一時的に、当地では珍しいほどの酷い吹雪となりました。しかし、神明市が終われば、春が来ます。

○系崎小学校校外学習

一月二十七日(火)、系崎小学校の三、四年生の皆さんが校外学習で当社に来られました。外は寒かったので、参集殿にて、小職から系崎神社と系崎の町の昔の様子などについてお話ししました。そのあと皆さんは外に出て、手をつないでクスノキの樹囲を測ったり、あたりを駆け回ったりしていました

予定

○神明たるま供養祭

二月二十日(金)午前十一時から、道の駅 みはら神明の里にて行います。参列自由、無料ですので、古いダルマを持参の上、ご参集下さい。

○疫神祭準備

二月二十二日(日)午前九時から、とんどの軸木となる松の木を御山から伐り出します。

二月二十三日(月)午前九時

とんどの調製を行います。多くの人手が必要になるのは二十三日の方です。有志の皆様、何卒ご協力下さいませよう、お願い致します。

○疫神祭

二月二十八日(土)午後五時、このたびは臨時駐車場を準備していません。ご注意下さい。



以上 系碕神社宮司 松本圭